

# 第45回日本産業技術大賞

## きょう贈賞式

本社主催

### 内閣総理大臣賞

## ホンダジェットの開発



「第45回日本産業技術大賞」（日刊工業新聞社主催）の贈賞式がきょう11時から東京・飯田橋のホテलगランドパレスで行われる。最高位の内閣総理大臣賞には本田技研工業、ホンダエアクラフトカンパニーの「ホンダジェット」の開発が輝いた。次いで文部科学大臣賞には鹿児島建設の「地震エネルギーで揺れを止める新世代制震装置「HiDAXR」の開発」、審査委員会特別賞には日本ゼオン、産業技術総合研究所の「スーパーグロスカノナノチューブ産産技術完成」が選ばれた。日本産業技術大賞はわが国の産業の発展に貢献した技術開発成果を毎年選定し、開発・実用化した企業・団体、グループを表彰するもの。産業界における革新的な大規模技術、システム技術の開発を奨励するために1972年に創設された。主要産業団体や学会などを通じて推薦された技術の中から、学識経験者らで構成する審査委員会（原山優子審査委員長）総務科学技術・インベシヨン会議員）が厳正に審査して決定する。

### 本田技研工業 ホンダエアクラフトカンパニー

「ホンダらしいチャレンジャーな商品として『ホンダジェット』の引き渡しが始まった（八郷隆弘本田技研工業社長）。創業者の本田宗一郎氏が夢に描いた航空機事業への参入が2015年末、30年におよんだ開発期間を経て現実になった。斬新なアイデア  
ホンダジェットの開発初期から事業化まで主導したホンダエアクラフトカンパニー社長の藤野道格氏がホンダに入社したのは1984年。東京大学航空学卒を卒業したのも

### 画期的な「主翼上エンジン」

## 将来は年100機販売を計画

を組み合わせれば逆に良い流れをつくれるのでは。藤野氏は見方が変わったと振り返る。この発想が後のホンダジェットの特徴を形作る。エンジンを主翼の上に配置するレイアウトだ。航空機のエンジンには通常、胴体横に配置される。エンジンを主翼の上に配置するレイアウトは、強度と軽量化につながる。強度と軽量化につながる「ステイラッドパネル様式」と形状保持につながる「サンドイッチパネル様式」の構造を最適化することで、軽量化だけでなく自然層流技術に求められるスムーズな形状の保持も可能とし

第45回日本産業技術大賞 審査委員

◆審査委員長◆ 総合科学技術・イノベーション会議議員 原山 優子氏	◆委員◆ 科学技術振興機構理事 濱口 道成氏
産業技術総合研究所副理事長 金山 敏彦氏	新エネルギー・産業技術総合開発機構 副理事長 宮本 昭彦氏
東京理科大学学長 藤嶋 昭氏	東京工業大学学長 三島 良直氏
理化学研究所理事 松本 洋一郎氏	内閣府政策統括官 森本 浩一氏
文部科学審議官 戸谷 一夫氏	経済産業省大臣官房審議官 星野 岳穂氏
日刊工業新聞社社長 井水 治博	（顧問） 3月2日の審査委員会時

「設計や開発とは全く異なる次元だった」という膨大な作業を経て昨

HONDA The Power of Dreams

エコドライブ、美しい環境とモビリティの楽しさを次世代へ。

2 × 3 シート 列

1530 mm 全高

24.2 km/L (HYBRID X) | 25.0 km/L (HYBRID UC08e)

JADE HYBRID

JC08e 走行燃料消費率（国土交通省審査値）  
燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境や運転方法に応じて燃料消費率は異なります。

HONDA

デザイン、テクノロジー、フィロソフィー、すべてが、都市発想。都市型3列。JADE HYBRID Honda Cars よりお届けします。